

Small Talk台本（第2時・第4時のはじめ5分）

進め方（外国語活動）：帯活動として単元の後半に2回。4年は先生の話聞くことが中心で、ペアは2回目だけ30秒×2回（相手を替えて）。1回目のペアのあとに中間指導（下の「ことばの補給」）を挟む。なりきりではなく先生の学校の1日と、ハワイの友だちの「いま」で話す。

話題1 先生の学校の1日（第2時）

板書：時計の模型と、朝の会・給食・帰りの会の絵。役の札「たずねる」（みんな）「こたえる」（先生）。英文は書かない

T Hello! This is my school day. Ask me!

みんな、こんにちは。先生の学校の1日です。きいてね。（時計の模型を 8:30 にして、まだ見せない）

S What time is it?

なんじ？（全員で声をそろえて）

T It's eight thirty. Good Morning Time!

8時半。おはようタイム！（模型を見せて、朝の会の絵をさす）

S What time is it?

（先生が模型を 12:30 にする）なんじ？（全員で）

T It's twelve thirty. Lunch Time!

12時半。きゅうしょくタイム！（3:30 の帰りの会=See You Time! も同じように）

つまった子への助け舟：What time is it? が出ない子は Time? だけでよい。

話題2 ハワイの友だちは いま なんじ？（第4時）

板書：日本とハワイの2つの時計と地図。ハワイの1日の絵4つ（3:00 おやつ・6:00 ばんごはん・8:00 おふろ・9:00 ねる）。英文は書かない

T It's ten o'clock in Japan. My friend lives in Hawaii.

（教室の時計をさして）日本は10時。先生の友だちはハワイにすんでいます。（地図と2つの時計。時刻は授業の時刻に合わせる）

T What time is it there? Guess!

ハワイは いま なんじでしょう？（子どもは指で数を出して当てる。10時？ 11時？）

T It's three o'clock. Snack Time!

答えは3時。おやつタイム！（まだきのうの3時）→ペアで、ハワイの友だちに電話しよう（30秒×2回）

S What time is it? — It's eight o'clock. Bath Time!

（先生と子ども1人で一度見せる。Hello! で電話をかけ、Nice! で返す。ハワイの役は板書の絵から1つえらぶ）

つまった子への助け舟：ハワイの役で言えない子は、絵をさすだけでよい（先生がいっしょに言う）。



中間指導 1回目のあとに全体で（ことばの補給）

第4時のペアの1回目のあとに全体で：「ハワイの友だちが Bed Time のときは、どうする？」と聞く→先生がハワイの友だち役で It's nine o'clock. Bed Time! と言い、全員で Oh, sorry! Good night! と返すのを2回（夜の電話を切るときのことば）。ふやすのはこの1つだけ。→相手を替えて2回目。おわりに「先生の友だちは、いま なんじ？」とたずね、ハワイの時計を見て全員で Snack Time!（このあとの先生のマイ・タイムへ）。

対話を続けることば 黒板横に掲示しておく

はじめる	Hello!
たずねる	What time is it?
くり返す	Three o'clock? OK!（あいての言葉をくり返す）
ひとこと感想	Nice! / Yummy!
たしかめる	Pardon?
おわる	See you! / Good night!

先生へ

- ・4年の Small Talk も先生の話聞くのが中心。第2時は子どもがたずね、先生が答えるだけでペアにしない（子どもが答えるのは第3時から）。第4時のペアも30秒×2回で十分。第3時は班の当てっこに時間を使うため、帯は時刻の帯のまま
- ・学校の時刻（8:30・12:30・3:30）は、その学校の時間割に合わせて○時か○時半に替える（Word版で書き換えられる）。学校の1日はクラス全員が同じ＝家の生活時間の差が出ない。家で何時に起きる・寝るかはたずねない（ハワイの4つの絵も友だちの1日）
- ・ハワイは日本の時刻に5時間足す（日付は1日前）＝日本の10時はハワイの3時。授業の時刻に合わせて言いかえ、○時か○時半に丸める。友だちの国は、先生の本当の知り合いか ALT の先生の国に替えてよい（夏時間のある国は季節で時差が変わる）。音声は先生と子どもの声で、話題ごとに1本ずつ